

NO
78

SEPTEMBER
2025

miyazaki

障害者社会参加推進 センターだより

1～2p

宮崎県障がい者スポーツ協会

3p

宮崎県立視覚障害者センター

4p

宮崎県障がい福祉課

5p

宮崎県肢体不自由児・者父母の会連合会

6p

宮崎県盲ろう者友の会

7p

宮崎県身体障害者相談センター

8p

宮崎県精神保健福祉センター

9p

宮崎県手をつなぐ事業所協議会

10p

宮崎県向声会

宮崎県脊髄損傷者友の会

11p

宮崎県身体障害者団体連合会

宮崎県障害者社会参加推進センター

宮崎県障害者社会参加推進センターだよりは、宮崎県障害者社会参加推進協議会の構成団体（当事者団体等）のご協力のもと編集及び発行しております。

発行：宮崎県障害者社会参加推進センター

（宮崎市原町2-22 TEL 0985-26-2950 FAX 0985-55-0258）



令和7年度
第24回宮崎県障がい者スポーツ大会を開催しました
～ Road to 2027宮崎国スポ障スポ ～



宮崎県障がい者スポーツ協会

5月11日（日）に、ひなた県総合運動公園（陸上競技、卓球、フライングディスク、グラウンド・ゴルフ、バレーボール、ミニバレーボール）、パーソルアクアパーク宮崎（水泳）、清武総合運動公園（アーチェリー）生目の杜総合運動公園（ボッチャ）、宮崎エースレーン（ボウリング）を会場として10競技に総勢787名の選手が参加し、第24回宮崎県障がい者スポーツ大会を開催しました。

それぞれの競技で自己ベストの更新を目指して、熱戦が繰り広げられ、会場は熱気に包まれました。この大会の盛り上がりが2027年に宮崎県で開催される全国障害者スポーツ大会への機運醸成につながると思います。

本大会を開催するにあたり、各競技団体の皆様、高校生や専門学校・大学からの補助員の皆様をはじめ、多くの関係者に御尽力頂き、心より感謝申し上げます。

【大会新記録】

大会では、陸上競技及び水泳競技において、30名の選手が大会新記録を出しました。

競技	種目	障害区分	年齢区分	氏名	所属	記録
陸上競技	400m	27	青年	宮本 颯太	新富町	55"17
	800m	27	青年	兒玉 翔	宮崎市	2'24"65
	800m	27	壮年	三好 秀和	宮崎市	2'39"94
	音響走50m	24	2	甲斐 ひろみ	日向市	14"54
	50m	25	2	野田 聖	西都市	8"67
	50m	27	壮年	吉田 俊一	国富町	8"16
	50m	25	1	関谷 瞳	宮崎市	8"72
	50m	27	少年	河野 碧衣	児湯るびなす	7"85
	スラローム	16	1	興松 優空	清武せいりゅう	1'24"2
	スラローム	23	1	谷川 結梨	赤江まつばら	1'08"6
	車いす100mレーサー	19	1	木下 大輔	宮崎市	19"11
	100m	27	壮年	柴 聖	宮崎市	14"13
	走幅跳	27	少年	山中 唯華	延岡市	4m82
	ジャベリックスロー	4	2	立脇 輝敏	日之影町	15m63
	ジャベリックスロー	26	2	溝ノ口 修敏	宮崎市	23m45
	ジャベリックスロー	27	壮年	森 清剛	国富町	22m79
	砲丸投	22	1	花坂 啓尋	高鍋町	10m45
	砲丸投	7	1	戸高 大斗	宮崎市	6m92
	ソフトボール投げ	25	2	宮田 孝茂	日向市	30m49
	水泳	25m背泳ぎ	26	青年	柿並 寛人	都城市
25m自由形		25	1	木原 宗士朗	都城さくら聴覚	20"28
25m自由形		24	2	金倉 正治	日南市	15"59
25m自由形		6	2	兒玉 充永	国富町	15"97
50m平泳ぎ		26	青年	山田 玲美奈	宮崎市	39"34

50m背泳ぎ	18	1	大脇 三彩野	宮崎市	1'37"21
	26	少年	甲斐 野々華	宮崎市	34"96
アーチェリー コンパウンド30mダブル	4	男子	津隈 幸一	日之影町	608 点
フライングディスク ディスタンス	座位		今西 佳治	宮崎市	23m95
ボウリング	青年男子		蛸原 大貴	日南市	475 点
	青年女子		長友 彩友美	宮崎市	303 点

※当協会のホームページには、全種目の記録を載せています。ぜひご覧になってください。

【大会の様子】



御声援、御協力ありがとうございました。



『見えない・見えにくい 人のための福祉機器展』

※この行事は「赤い羽根共同募金
受配事業」により開催しています

赤い羽根共同募金の助成を受けて、『見えない・見えにくい人のための福祉機器展』を開催します。今年の機器展では今話題のAI関連の情報や、音声解説付きDVD「ヤンキー君と白杖ガール」、シネマデイズ「男はつらいよ」の上映体験会を企画しました。また、スマートフォンを持っていない方でも使える新しいタイプの機器「ダイナグラス」の体験会も実施します。そのほか日常生活用具の展示・販売、拡大読書器等の展示、友の会のバザーなど盛りだくさん。ぜひお誘いあわせのうえ、おいでください。

**入場
無料**

開催日：令和7年9月28日（日）

会場：宮崎県立視覚障害者センター

主催：(公財)宮崎県視覚障害者福祉協会

お問い合わせ：同センター（電話）0985-22-5670（FAX）0985-38-8730

1階

(研修室) 音声解説付きDVD、シネマデイズ体験会

上映は午前・午後の2回で内容は同じもので30分間のみ。座席の関係上、申し込みが必要です。各回12名まで。(シネマデイズは音声のみ)

(午前)

10:00~10:30 ヤンキー君と白杖ガール
11:00~11:30 (シネマデイズ) 男はつらいよ

(午後)

12:30~13:00 ヤンキー君と白杖ガール
13:30~14:00 (シネマデイズ) 男はつらいよ

上映時間以外は交流の時間といたします。ゆっくりお過ごしください。(お茶付き)

1階

(ボランティア室)
ダイナグラス体験会 (50分間)

①10時~ ②11時~ ③12時~ ④13時~
それぞれ4名までお申し込みいただけます。

2階

(研修室)
AIを便利に使おう

AIを使った文字解析、画像解析、さらに問かけにも応えてくれる便利さをぜひ体験してください。

2階

用具販売・便利グッズの展示
(日視連)

拡大読書器、プレクストークほか展示
(メガネのヨネザワ・システムギアビジョン)

展示商品：日常生活用具、拡大読書器、
弱視眼鏡、白杖、プレクストークほか

同時
開催

1階

(正面玄関横)
10:00~14:30

点訳音訳友の会によるバザー

どうぞ足をお運びください。掘り出し物があるかもしれません

今回もスタンプラリーを実施して、名札返却時に抽選を行います。お役立ちグッズがもらえるかもしれません ✨是非ご参加ください ✨

令和7年4月から「おもいやり駐車場制度」の 利用対象者を拡大しました！

「おもいやり駐車場制度」とは、県内の商業施設、病院、銀行、官公庁など公共的施設に設置された身体障がい者用駐車場を適正に御利用いただくため、障がいのある人や高齢の方、妊産婦などで歩行が困難と認められる方に対して、3種類の利用証を交付し、当該駐車場を設置する事業所等の協力を得ながら、本当に必要な方のための駐車スペースの確保を図る制度です。

「おもいやり駐車場制度」の利用対象者の拡大について

令和7年4月から身体障害者（下肢・体幹）、多胎児の妊産婦、難病の方の利用対象者を拡大しています。

拡大により対象者となった方は、お住まいの市町村障がい福祉課や県障がい福祉課等で申請ください。

◆下肢・体幹に障害のある方

下肢4級以上 → 下肢6級以上 に拡大

体幹3級以上 → 体幹5級以上 に拡大

※現在オレンジ色の利用証を利用している場合は、緑色の利用証の交付が可能ですので、再度申請ください。

◆多胎児（双子以上）の妊産婦

「産前4か月～産後3か月」→

「産前4か月～産後18か月」に拡大

※妊産婦のみの利用は産後3か月まで、以降は多胎児同伴。

◆難病の方

特定医療費（指定難病）受給者又は特定疾患医療受給者（児童の場合は小児慢性特定疾病医療受給者）へ、難病法に基づく「登録者証」をお持ちの方を追加。

※「登録者証」は県健康増進課へお問い合わせください。

「おもいやり駐車場制度」の利用証、路面標示

利用証は、赤色の「車椅子利用者用」、緑色の「障がい者・高齢者等用」、オレンジ色の「妊産婦・けが人等用」の3種類です。路面標示は、赤色の「車椅子利用者用」と緑色の「全対象者用」があります。



適正利用のお願い

「おもいやり駐車場制度」は県民の皆様のおもいやりの心で運用しています。制度趣旨や駐車場の適正な利用について、御理解と御協力をお願いします。

- ・利用証を他人に譲渡したり、貸与してはいけません。
- ・有効期間の満了（妊産婦・けが人等）や障がいの軽減等により利用証の交付対象でなくなった場合は返却してください。
- ・利用証は全国43府県で使用可能です。他府県で「おもいやり駐車場」へ駐車する際も、利用証を使用しましょう。
- ・駐車区画は限られています。譲り合って御利用ください。

制度や申請方法について

制度詳細や申請方法は県ホームページ（右記二次元バーコード）又はお住まいの市町村の障がい福祉主管課へお問い合わせください。



「失語症者向け意思疎通支援事業について」 宮崎県言語聴覚士会 岩村秀世・盛田大斗

今回、宮崎県言語聴覚士会が宮崎県障がい福祉課からの委託で行っている『失語症者向け意思疎通支援事業』についてご紹介をします。

<失語症とは>

皆様は、『失語症』という障害をご存知でしょうか？

脳卒中や事故などで脳が損傷を受けた時に生じる高次脳機能障害の1つで、主に言葉（言葉を話す、言葉を聞く、文字を書く、文字を読む）が苦手になってしまう障害です。全国には失語症で悩んでいる方が、約50万人いるとの報告があり、言葉が話せないことで、「好きな所に買い物に行けない」「自由に行動が出来ない」などの悩みを抱え、引きこもりになってしまっている方もいます。

<失語症者向け意思疎通支援事業とは>

国は、失語症により意思疎通が困難な方に対し、自助グループへの参加援助をはじめ、外出同行、交通機関の利用援助など、コミュニケーションを支援することを目的として、平成30年度より「失語症者向け意思疎通支援事業」を開始しました。この事業は、①失語症に対応した意思疎通支援者の養成を行う事業、②意思疎通支援者を派遣する事業の2つに分かれております。宮崎県でも令和3年度より支援者第一期生の養成研修会を実施しており、現在では23の方が失語症者向け意思疎通支援者として県に登録を行っております。今後も支援者の養成とともに、派遣体制も進めていきたいと考えております。



興味がある方や詳しい情報を知りたい方は「宮崎県言語聴覚士会」ホームページをご覧ください。

宮崎県肢体不自由児・者父母の会連合会の活動報告

当会では、個性や多様性の生き方を尊重し、年齢や性別や障がい有る無し関係なく、お互いを知り理解し合える関係性を築ける場を提供することが目的です。できない!と諦めず、できるような環境整備をし、誰もが輝く生き方のできる社会にするにはどうしたら良いのか…様々な活動を通してみんなで考え実践する事業展開を目指しています!

宮崎県 3 地区合同療育キャンプ 令和 6 年 9 月 28 日~29 日



9 月 28 日(土) ICT 教育支援機器体験会 熊本高専 清田教授他 4 名 🙌 E ボッチャ家族対戦 真剣勝負!



教育現場での ICT 活用 ↑
講師:熊本高専 福島 勇 先生



9 月 29 日(日) 宮崎公立大学 学長 辻先生 講演 🖱️

地域を守る ICT 活用講義の後、カードリーダーを使用し登録した LINE にメッセージを送信する体験。宮崎大学の学生ボランティアも積極的に参加し感想や意見を発表しました 😊

夕食懇親会にて ゲスト:熊本県肢連事務局長 親子

👉 宮崎大学教育学部特別支援課程の学生と一緒に制作活動



👉 「熊本地震被災体験講話」離婚調停中に地震で 1 軒目の自宅が倒壊。大雨で 2 軒目の自宅が流され辛い経験を淡々 軽快なトーク! 避難所での暮らし、保険の大切さなど、これまでと違った視点で防災を考える時間でした。講演終了後、ゲストの周りに集まった参加者から質問攻め!!

宮崎県肢体不自由児・者父母の会連合会

★宮崎市肢体不自由児・者父母の会(県央支部 昭和 36 年~)、「ワンピース」(県央支部 令和 6 年 5 月~)

★ひまわり 🌻 希望の会(県西支部 令和 5 年 7 月~)★Parasol(ぱらそる)(県北支部 令和 6 年 11 月~)

令和 8 年度 全国肢体不自由児・者父母の会連合会九州ブロック宮崎大会 令和 8 年秋に開催予定

🌈 NPO 法人宮崎県盲ろう者友の会です 🍀

こんにちは！ 私たちは、視覚と聴覚の両方に障がいがある盲ろう者と、支援者から成る団体です。設立して16年、NPO 法人になって3年目になります。盲ろう者の福祉向上、社会参加の推進を目指して活動しています。視覚と聴覚の両方に障がいがあると、「情報入手」「他者とのコミュニケーション」「安全な外出」の3つに困難を来すようになります。それらを各盲ろう者に合ったコミュニケーションの方法で支援し、盲ろう者と社会の架け橋となる存在が「通訳・介助員」です。盲ろう者は支援を受けながら、友の会の交流会や買い物などを楽しんだり、通院やさまざまな用事を済ませることができます。

友の会では、会員間の親睦を図るため、いろいろな行事を計画して楽しんでいます。昨年度実施した行事の中からいくつかご紹介します。

🍇 ブドウ狩り&紙飛行機飛ばし 🛩️

自分で触り、一房の大きさや重さを確認しながら切り取り、おいしそうに試食されていました。



🌸 お花見交流会
見えにくい目で、
可愛い花びらを
そっと触りなが
らにっこり



🍉 ぶっかけソーメン
& スイカ割り
全く見えない聞こえない方も、勘を頼りにスイカ割りに挑戦！

次に今年度に入ってから行事を紹介します。

5月16日、17日・・・大分盲ろう者友の会との交流会

創立15周年の記念行事として、通訳者も含めて9名で来県されました。16日午後は事務所を見学。夜は、宮崎の友の会8名との食事会を楽しみ、親睦を深めることができました。17日の午前中は宮崎の友の会会員(約30名参加)との交流・意見交換会を行い、お互いの活動ぶりを参考にし合うことができました。とても有意義な2日間となりました。



★ 指点字・触手話学習交流会のご案内！！ ★

盲ろう者友の会では、毎月第3日曜日の午後1時半から3時半まで、県立視覚障害者センターボランティア室で、盲ろう者との色々なコミュニケーション方法を学んだり、ティータイムを楽しみながら交流したりしています。どなたでも参加いただけますので、ご参加をお待ちしております。見学だけでも大歓迎です！



お問い合わせ 事務局

〒880-0014 宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス306号 TEL/FAX:0985-71-3004



建物外観

～宮崎県身体障害者相談センターです～

宮崎県身体障害者相談センターは、身体障害者福祉法に基づく身体障害者更生相談所として、身体障害者手帳の交付業務、補装具や更生医療の要否判定のほか、市町村が行う障がい福祉サービスの給付事業に関する助言等を行っています。

また、脳の損傷等によって起こる高次脳機能障がいに対する相談支援も行っています。

身体障害者手帳

宮崎市を除く県内25市町村にお住まいの方からの申請を受け、身体障害者手帳を交付しています。

補装具

義肢、装具、車椅子、補聴器等の給付について要否判定を行います。



身体障害者

相談センター

リハビリテーション

理学療法士、作業療法士等の専門職員が施設等を訪問し、福祉用具に関する相談やリハビリテーションに関する技術的支援等を行います。

更生医療

障がいの除去、または軽減を図るための更生医療の要否判定を行います。



…高次脳機能障がい相談支援…

宮崎県身体障害者相談センターでは、上記業務のほか、高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関として、宮崎大学医学部附属部病院等と連携し、高次脳機能障がいのある方やご家族等への相談・支援をおこなっています。

～高次脳機能障がいとは～

病気（脳血管障がい、脳炎、脳腫瘍等）や
事故（脳外傷）によって**脳が損傷**されたために、認知機能や情動などに障がいを生じ社会生活に支障をきたす状態をいいます。



相談は、電話やお問い合わせフォームなどでお受けしています。

連絡先

宮崎県身体障害者相談センター
高次脳機能障がい支援コーディネーター
Tel 0985-29-2556

shintaishogaisha-sodan-c@
pref.miyazaki.lg.jp

当センターの
ホームページは
右のQRコードから
どうぞ ⇒



宮崎県身体障害者相談センター

〒880-0032
宮崎市霧島1丁目1番地2
宮崎県総合保健センター 5階
Tel 0985-29-2556 Fax 0985-31-3553



宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

ひきこもりに関する相談のご案内

次のような状態にあり支援を必要とする方

- ・何らかの生きづらさを抱え、生活上の困難を感じている方
- ・家族を含む他者との交流が限定的（希薄）な状態にある方

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30~17:15（土、日、祝祭日、12/29~1/3を除く）

※まずはお電話ください。



カラダのゲンキはココロから。

宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <https://miyakoro.com>

家族教室のご案内

精神疾患（障がい）についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

精神科医による診療相談のご案内

ご本人や家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後1時 ~午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3木曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

こころの電話相談

月曜日~金曜日【午前9時~午後7時】

(土、日、祝祭日、12/29~1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。貸出しも行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- DVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてご利用できます。
※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取組を紹介しています。

【アドレス】 <https://www.miya-seiren.com>

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

- タクシー：約10分
- バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分
宮崎ナナイロ前バス停から7番線（下北方行）で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線（平和台行）で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階

TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

【アドレス】 <https://www.seihocenter-miyazaki.com>

特定非営利活動法人 えびの福祉作業所

えびの福祉作業所のあるえびの市は宮崎、鹿児島、熊本の三県の県境にあり、自然が豊かで温泉や食など様々な魅力に溢れるところです。



竹林整備

毎年たけのこを採るために頑張っ
て綺麗にしています

私たち、えびの福祉作業所は物づくりやイベント販売などを通して、それぞれの違う個性を生かしながら周りの方々に支えられ、自分らしく安心して暮らしていけるようこれからも支援してまいります。



そうめん流し

作業所で採れた野菜もふんだんに
使います



そば打ち

蕎麦を一から育てて生地から全て
手作り



市役所などの除草

定期的に色々な所から作業の依頼を頂いています
とても大変ですが皆さん毎日一所懸命です！

〒889-4311 宮崎県えびの市大明司455-3

TEL 0984-33-2245 えびの福祉作業所

「のどのなる話・・・？」

うまい酒とか、キンキンに冷えたビール、ウナギのかば焼きなど、のどのなるという話ではない。

食道発声のはなしである。

喉頭ガンなどで声帯を摘出した者は、「食道発声」「電気式人工喉頭・EL」「シャント発声」などでコミュニケーションをとるということになる。

声帯がある人は、声帯を震わせて声を出している。「食道発声」では、鼻や口から空気を食道に取り込み、腹筋と横隔膜の力で喉を震わせて音にする。口の形「口形」の変化で声になる。一番初めは「ア」の声だ。「ア・イ・ウ・エ・オ」の母音、次は「子音」というように、単音の発声へと進んでいきます。

単音の発声が安定したら、2音節の発声になります。ここまではわりとスムーズにいきますが、3音節・4音節になると壁があらわれます。もともと食べ物が通っていく食道に、口と鼻から吸い込んだ空気が足りなくなって、声にならないのです。

一概に声帯摘出せざるを得ない場合も個人差があるので、発声もひとり一人異なります。食道が残っている者と、食道のかわりに小腸を移植した者では、取り込む空気の量が違います。

喉がなる話が、少し難しい話になりました、ご容赦ください。

始めと終わり 会長 矢野光孝

何人も物事を始める時は色々な夢と希望をもって始め、その目的に向かって多種多様な動きを働かせて、その目的の遂行のためにあらゆる努力を費やして、その目的のために継続していくことに全力を挙げています。目的は個人、組織、企業と幅が広く意味が違います。

私たちの会も1974年全国脊髄損傷者宮崎県支部として始まりましたが、全国組織で活動ができれば、要望・請願活動もしやすいことが当初の目的でもありました。時は流れ会員の減少化、高齢化、目的等もなくなる中で支部の存在感がなくなりつつあります。支部も風前の灯火の中、終わりが近いかなと思う今日このごろです。

県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会を実施しました

6月28日（土）に、宮崎県総合運動公園 ひなた木の花ドームで第19回宮崎県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。県内各地より21チーム、選手、選手関係者や大会スタッフ総勢167名の参加でした。最高齢94歳の選手を筆頭に、和気あいあいと熱戦のなか、大会はおおいに盛り上がり終了しました。

＊大会成績＊

団体の部 1位 高崎町A 2位 えびの市A 3位 都農A

個人の部 1位 広池洋三さん（高城町B） 2位 伊地知清子さん（えびの市A） 3位 池田数正さん（高崎町A）

団体の部の上位3チームは、大分県別府市で11月に開催される第18回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会（大分大会）に、宮崎県代表で出場します。



優勝チーム：高崎町A

県障害者社会参加推進センター



12.6 土

11:30-14:50

メディキット県民文化センター
イベントホール&広場

歌、ダンス、バンドなどのステージ発表に加え、お楽しみ抽選会などもりだくさん♪是非おこしく下さい

ステージ発表

みんなおいでよ！
障害者週間啓発イベント

“ココろ”
のふれあう
フェスタ

2025

体験コーナー

マルシェ
キッチンカー

お楽しみ
抽選会

〈 相談窓口のご案内 〉



障がい者差別相談窓口
0985-23-3388
soudan@miyashinren.jp



障がい者110番
0985-26-3040



障がいのある方が障がいのない方と同じように日常生活を営むことができるよう、障がいを理由として不利益な取扱いをされたり、必要に応じた支援などの合理的配慮を行わないなどの差別に関するご相談に応じます。

障がいのある方が安心して生活ができるようにさまざまな問題について情報提供や助言を行っています。障がいのある方やそのご家族または関係者からの相談に応じます。